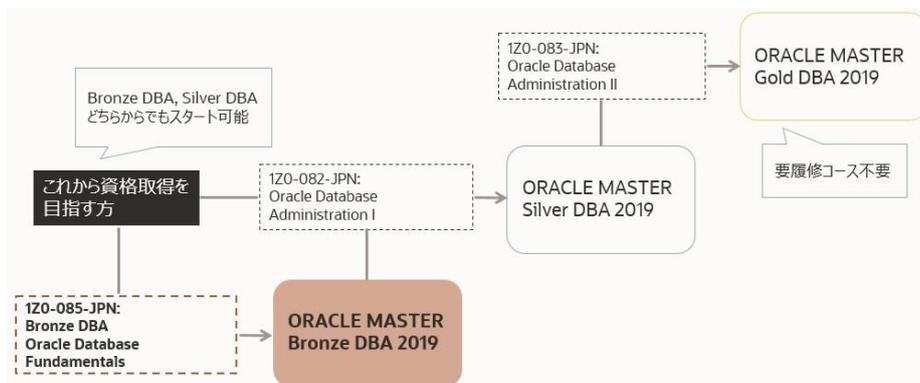


ORACLE MASTER Bronze DBA 2019

Study Guide

ORACLE MASTER Bronze DBA 2019 は IT エンジニアの方全般を対象に Oracle Database のアーキテクチャと運用管理に関する基礎知識を持っていることを証明する資格です。プロジェクトやシステムの全体像を俯瞰するために必要な知識といえます。Oracle Database 19c に対応しています。

取得パス



ORACLE MASTER 2019 では Bronze DBA を取らずに、Silver DBA からチャレンジすることもできます。Silver DBA は試験範囲が DBA と SQL の両分野に及ぶので、Oracle Database について初学者の方の場合は、Bronze DBA からチャレンジされる方がスモールステップとなり、取り組みやすいかと思われます。一方、実務経験をお持ちの方の場合は、Bronze DBA をスキップして、Silver DBA からのチャレンジでも良いかと思われます。

試験要項

要項	
試験番号	1Z0-085-JPN
試験名	Bronze DBA Oracle Database Fundamentals
時間	120 分
出題数	70 問
合格ライン	65%

試験は CBT 形式で、いつでも受験できます。[CertView](#) よりお申し込みください。日本各地にある [PearsonVUE](#) テストセンターでの受験、もしくは、ご自宅や職場からオンライン試験(監督付き)での受験が可能です。試験要項は[こちら](#)から参照可能です。

試験範囲

1. Oracle データベース管理の概要

- ✓ リレーショナル・データベースおよび SQL の理解
- ✓ Oracle インスタンスおよびデータベースのコンポーネントの理解
- ✓ データベース・ファイルの理解
- ✓ Oracle データベースの管理に使用するツールの定義
- ✓ Oracle データベースの重要な用語の理解
- ✓ Oracle データベース運用上の要点の理解

2. Oracle データベースのインストールおよびデータベースの作成

- ✓ Oracle データベース・ソフトウェアのインストール
- ✓ Oracle データベースの作成
- ✓ Oracle Enterprise Manager Database Express および SQL 管理ツールの使用
- ✓ Enterprise Manager Database Express の起動
- ✓ Enterprise Manager Database Express の使用
- ✓ Enterprise Manager Express へのアクセス
- ✓ SQL*Plus の使用

3. Oracle Network 環境の構成

- ✓ Oracle Network 構成の説明
- ✓ リスナー制御ユーティリティの使用
- ✓ Oracle データベースにアクセスするためのクライアントの構成

4. Oracle インスタンスの管理

- ✓ Oracle インスタンスの起動および停止
- ✓ Oracle インスタンスの構成に使用されるパラメータの表示と変更
- ✓ Oracle インスタンスのメモリー・コンポーネントの管理

5. データベース記憶域構造の管理

- ✓ データベース記憶域構造の作成と管理
- ✓ データベースへの変更の取り消しと一貫性を維持するための構造の管理

6. ユーザーおよびセキュリティの管理

- ✓ ユーザーおよびセキュリティの管理
- ✓ ユーザーの作成および管理
- ✓ ユーザーがデータベース操作を実行するための権限の付与
- ✓ ロールの作成および管理

7. スキーマ・オブジェクトの管理

- ✓ データベース表の作成および変更
- ✓ データベース・オブジェクトの追加作成

8. データベースの監視およびアドバイザの使用

- ✓ Oracle 自己監視アーキテクチャの説明
- ✓ パフォーマンス・アドバイザを使用したデータベース・パフォーマンスの最適化

学習教材・学習方法

市販の試験対策書籍

翔泳社「オラクルマスター教科書 Bronze DBA Oracle Database Fundamentals」が刊行されています。解説を読んで学習した後、練習問題で理解度をチェックすると良いでしょう。

ORACLE MASTER Bronze/Silver ラーニング・サブスクリプション

Bronze DBA, Silver DBA, Silver SQL 試験に特化した 1 年間使用できるラーニング・サブスクリプションです。含まれる各試験をそれぞれ 1 回受験できます。 [詳細 プレビュー](#)

ORACLE MASTER Bronze DBA ラーニング・パスに含まれるコンテンツを順に学習することで、試験合格に必要な知識を体系立てて習得できます。トレーニング「Oracle Database: 管理クイック・スタート」の講義ビデオで学びながら、演習環境を使って演習シナリオに沿って実際にインストール、データベース作成・管理を行い、動作を確認すると良いでしょう。演習環境は Lab タブから手配できます。

傾向と対策

- ✓ 試験範囲全体から出題されるので、試験範囲について全体的に理解を深めると良いでしょう。
- ✓ 全体的に基本的な内容を重視した出題となっています。アーキテクチャをよく理解しておくとう良いでしょう。
- ✓ 管理ツールの名称と主要用途を確認しておきましょう。
- ✓ コマンドで出題されるので、インスタンスの起動・停止、表領域の作成・管理、ユーザーの作成・管理などの基本的なコマンドを確認しておくとう良いでしょう。

サンプル問題

I. コミット時に REDO ログ・バッファの内容を REDO ログ・ファイルに書き出すプロセスはどれですか。

- A) DBWR
- B) LGWR
- C) SMON
- D) PMON

正解 : B

アーキテクチャは頻出ですので、主要なバックグラウンド・プロセス、メモリー・コンポーネント、データベース・ファイルの役割

を理解しておきましょう。

II. UNDO データについて正しい記述はどれですか（2 つ選択してください）。

- A) トランザクションをロールバックするために使用される。
- B) トランザクションをロールフォワードするために使用される。
- C) SYSTEM 表領域に書き込まれる。
- D) UNDO 表領域に書き込まれる。

正解 : A, D

正誤問題では選択肢をよく読んで答えるようにしましょう。また、各コンポーネントの用途を問われる出題も多いので、用途をよく理解しておきましょう。